

外観



大阪梅田の阪急電鉄梅田駅に併設されたショッピングセンター（B2F～2F）。ホワイティうめだなどの地下街や、大阪市営地下鉄などともつながる、利便性の高い商業施設。

KIDDY LAND横 大便器ブース・お子様配慮スペース



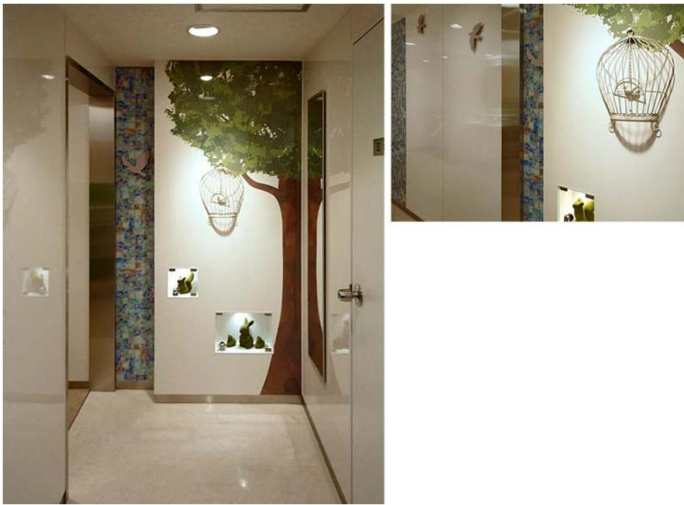
お子様連れ配慮として、大便器ブースにはベビーチェアを設置。お子様配慮スペースには、輪を動かして遊べる手すりを設け、楽しくおむつ替えができる空間としている。

ナカイ楽器奥 レストルーム内部



大便器ブースと小便器コーナーには、ベビーチェアを設置。特に小便器コーナーはベビーチェアとセットで仕切りを設け、独立した空間とした。洗面器は荷物を置ける棚を設けたツインデッキカウンターを採用。

KIDDY LAND横 入口



童話「青い鳥」をコンセプトにしたレストルーム。鳥籠や小鳥のオブジェを配置し、癒しの導入空間を演出。ファミリー層が多く集まるショッピングエリアに位置するため、特にお子様連れ配慮を重視している。

ナカイ楽器奥 入口



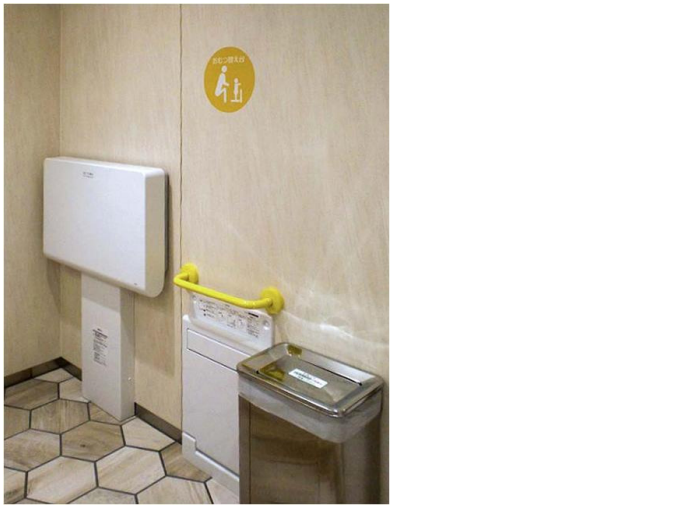
お子様連れが多いテナントエリアのため、知育をテーマとした体験型レストルームをコンセプトとした。壁には楽譜を描き、音符のパットを押すと音が鳴り音階を学べる仕組みになっている。

玉田ピアノ横 洗面コーナー



ファミリー層が集まるフロアの少し奥まった場所にある、クラフト感をテーマとした落ち着いた温かみのあるインテリアのレストルーム。洗面カウンターは、お子様が手洗いできるような高さ違いで設置。

玉田ピアノ横 お子様配慮スペース



男性にはあまり認知されていない、パンツタイプのおむつ交換や子どもの着替えにも活用できるフィッティングボード。補助的にサインを設け活用を促している。

やまと奥 洗面コーナー・小便器コーナー



テーマカラーの赤が効果的にあしらわれた洗面コーナーには、荷物を置ける棚を設けたツインデッキカウンターを採用。小便器は、シンプルなデザインで大幅な節水を実現する自動洗浄小便器を設置した。

建築概要

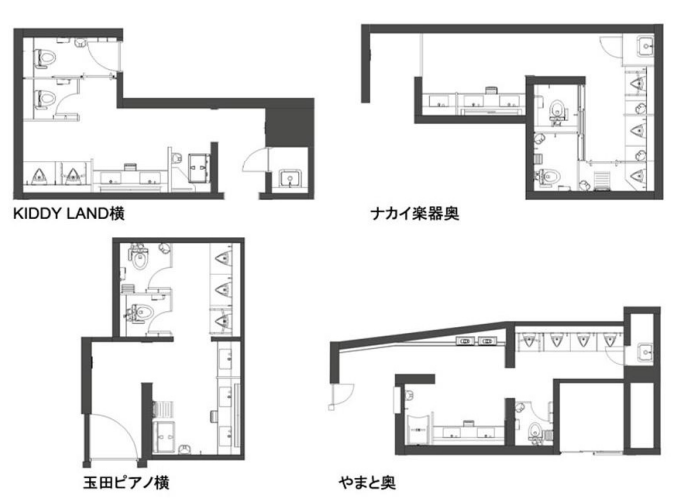
名 称	阪急三番街 B1F 男性レストルーム
所 在 地	大阪府大阪市北区芝田1-1-3
施 主	阪急電鉄株式会社
設計・施工	TOTOエンジニアリング株式会社
設計監修	阪急阪神ビルマネジメント株式会社
竣工年月	（改修）2015年9月～12月

やまと奥 入口



周辺店舗入替予定のため集客ターゲットを大人の男性としたテナントエリアのレストルーム。Gentleman Restroomをコンセプトに、入口壁面には、車のイラストを描き、ワンランク上の空間を実現。

レストルーム図面



改修された4ヶ所の男性レストルームの内、一部のレストルームにはベビーカーごと入れるひろびろブースを設置し、お子様配慮スペースを設けるなど、「イクメンパパ」のサポートを充実させた。

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
阪急三番街は、1969年に開業した、阪急電鉄梅田駅に直結する駅一体型商業施設の先駆け。女性レストルームは2012年度までに改修を行なったが、男性レストルームは未改修のままであったこともあり、好評を博した改修済みの女性レストルームに引けを取らない男性レストルームにしたいという強い思いをかなえるために、B1F北館南館合わせて4ヶ所（KIDDY LAND横・ナカイ楽器奥・玉田ピアノ横・やまと奥）の男性レストルームの改修を行なった。

＜トイレの特長＞
「阪急三番街は『イクメンパパ』をサポートします。」を、B1F男性レストルーム全体のコンセプトとし、さらに各レストルームごとにテーマを決めて改修を行なった。大便器は、コンパクトなパブリックコンパクト便器フラッシュバルブ式を採用。小便器は、シンプルなデザインと大幅な節水を実現する自動洗浄小便器を設置。また、同フロアにはキッズトイレとベビールームが設けられているが、男性レストルーム内にも一部の大便器ブースと一部の小便器コーナーにもベビーチェアを設置。さらに、おむつ替えに配慮してベビーチェア・ベビーシートを設置したスペースを設けるなど、「イクメンパパ」に配慮した快適なレストルームを実現している。